

令和5年度（令和4年度対象）

教育委員会の点検・評価

令和5年8月

洞爺湖町教育委員会

も く じ

I	はじめに	1～2
	1. 点検及び評価とは	
	2. 洞爺湖町教育委員会の点検及び評価	
	(1) 評価の流れ	
	(2) 評価の対象	
	(3) 事務事業における評価者	
	(4) 評価シートの作成	
	(5) 達成度評価基準	
	(6) 行政評価委員による意見・提言	
	3. 教育行政評価の公表	
II	教育委員会の活動状況	3～6
	1. 教育委員会議の開催状況	
	2. 委員の活動状況	
III	事務事業評価及び評価委員の意見・提言	7～36
IV	資料 (別添)	
	1. 令和4年度教育行政執行方針	
	2. 令和4年度各種事務事業の実績等	

I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（以下「改正法」という。）が、平成20年4月1日から施行されました。この改正法では、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」が教育委員会に義務付けられています。

1 点検及び評価とは

教育行政の点検及び評価とは、洞爺湖町教育委員会が行っている行政活動（施策・事業）をどのような成果を上げたのかという観点から点検・評価し、その結果を改革・見直しに結びつけ、行政運営の質の向上を図るものです。また、住民にわかりやすく説明することによって、行政活動の透明性を高めるための経営手法でもあります。

（1）点検及び評価の目的

点検及び評価の目的は、

- ①政策や行政活動（施策・事業）の質を向上させること。
- ②行政の説明責任を果たすこと。
- ③教育行政に対する住民満足度を高めることです。

2 洞爺湖町教育委員会の点検及び評価

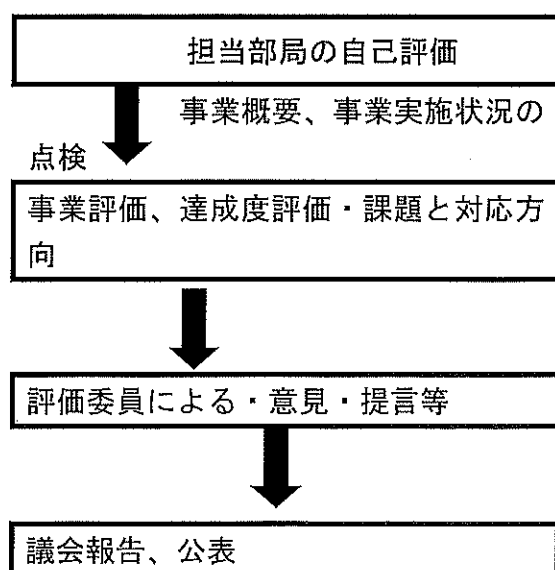
教育行政の点検及び評価をまとめて、「行政評価」とします。

（1）評価の流れ

教育委員会による自己評価に外部の視点から評価委員の意見を組み込むことにより、行政評価の客観性や改革・見直しの実効性を高めていきます。

各担当部局では、全事務事業を対象に、所定の評価シートを用いて「自己評価」を行います。

その後、評価委員が各事務事業に対する意見・提言等を示します。



(2) 評価の対象とする事務事業

前年度の「教育行政執行方針」に明記された事務事業の主なものを評価対象とします。

なお、個々の事業をまとめた「主要施策」ごとに評価シートを作成し、評価事務の簡略化及び明確化を図ります。

※ 教育行政執行方針の括りを「推進項目」…大項目、「主要施策」…中項目、「事務事業」…小項目に分類します

(3) 事務事業における評価者

事務事業評価は、担当部局が評価者となり、評価シートは所管課が作成します。

(4) 評価シートの作成

- ①「主要施策」に括られた「事務事業」の概要を記載
- ②上記事務事業の実施状況を簡潔に記載
- ③事務事業ごとの決算額を記載（過去2カ年）
- ④担当部局の「評価」を事務事業ごとに簡潔に記載
- ⑤「達成度」について、下記の基準により評価し、簡潔な説明を記載
- ⑥「課題と対応方向」について、具体的に記載

(5) 達成度評価基準

評価対象事務事業について、事業の達成度についてA～Dの4段階で評価します。

評価	事業達成状況	
A	予定事業の実施状況について	概ね達成できた
B		一部に未実施があったが、達成度は比較的高い
C		未実施のものが多く、達成度が低い
D		ほとんど実施できなかった

(6) 行政評価委員による意見・提言

担当部局が作成した「主要施策」ごとの評価シートを行政評価委員に提示・説明し、施策・事業への意見・提言を求める。

3 教育行政評価の公表

行政評価委員の意見・提言等を記載した評価報告書を町議会に提出し、町ホームページ等で公表します。

＜報告書内容＞

- ①教育委員会活動報告
- ②事務事業評価シート
- ③教育行政執行方針（参考）

Ⅱ 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会議開催状況

令和4年第2回臨時会 5月18日

番 号	案 件
報告第13号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第14号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第15号	令和3年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第11）について、専決処分をした旨の通知を受けたことについて
報告第16号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和4年5月会議提出一般会計補正予算（第1号））
報告第17号	洞爺湖町学校給食センターの今後の方向性についての提言書の提出を受けたことについて
指令第1号	洞爺湖町教育委員会教育長職務代理者の指名について
議案第12号	洞爺湖町教育委員会部局の人事異動について

令和4年第3回定例会 7月13日

番 号	案 件
報告第18号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和4年6月議会一般会計補正予算（第2号））
報告第19号	臨時代理の報告について（洞爺湖町教育委員会部局の人事異動）
報告第20号	臨時代理の報告について（洞爺湖町遠距離通学費等の助成に関する）
報告第21号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第22号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
議案第13号	第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの見直し検討委員会設置要綱の制定について
議案第14号	洞爺湖町学校給食センター給食検討懇談会設置要綱の制定について
議案第15号	洞爺湖町男女共同参画計画推進委員会設置要綱の制定について

令和4年第3回臨時会 9月5日

番 号	案 件
報告第23号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和2年7月議会提出一般会計補正予算（第4号））

報告第24号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第25号	洞爺湖町通学路等安全推進会議設置要綱の一部改正について
報告第26号	令和3年度から使用する中学校用教科用図書について
報告第27号	洞爺湖町子ども読書活動推進計画（第3次計画）の策定について
報告第28号	令和2年度（令和元年度対象）教育委員会の点検・評価について
報告第29号	管理社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第30号	令和3年度洞爺湖町学校給食会計決算について
議案第16号	洞爺湖町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について
議案第17号	洞爺湖町表彰条例に基づく被表彰候補者の内申について
議案第18号	令和4年度（令和3年度対象）教育委員会の点検・評価について

令和4年第4回定例会 10月31日

番 号	案 件
報告第31号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和4年9月会議提出一般会計補正予算（第5号））
報告第32号	臨時代理の報告について（洞爺湖町教育委員会部局の人事異動）
報告第33号	令和4年度全国学力・学習状況調査の結果概要について
報告第34号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第35号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について

令和4年第4回臨時会 12月22日

番 号	案 件
報告第36号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和4年12月会議提出一般会計補正予算（第7号））
報告第37号	臨時代理の報告について（洞爺湖町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例）
報告第38号	臨時代理の報告について（洞爺湖町教育委員会部局の人事異動）
報告第39号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第40号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について

令和5年第1回定例会 1月26日

番 号	案 件
報告第 1 号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 2 号	令和5年度当初予算要望概要について

令和5年第1回臨時会 2月15日

番 号	案 件
報告第 3 号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 4 号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
議案第 1 号	令和5年度洞爺湖町一般会計予算（民生費・教育費関係）について
議案第 2 号	令和5年度教育行政執行方針について
議案第 3 号	洞爺湖芸術館の管理運営に関し協議を求められたことについて
協議第 1 号	学校訪問総括について
協議第 2 号	保育所訪問総括について

令和5年第2回定例会 3月23日

番 号	案 件
報告第 5 号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 6 号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和5年3月会議提出一般会計補正予算（第9号））
報告第 7 号	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果概要について
報告第 8 号	学校給食センター統合後において継続すべき給食提供についての報告書の提出を受けたことについて
議案第 4 号	洞爺湖町教育委員会部局の人事異動について
議案第 5 号	洞爺湖町立学校教職員の人事異動について
議案第 6 号	洞爺湖町学校給食センター施設の統合について
議案第 7 号	第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン改訂版の策定について
議案第 8 号	第4次洞爺湖町社会教育中期計画の策定について
議案第 9 号	洞爺湖町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担並びに施設利用等に関する取扱い規則の制定について
議案第10号	洞爺湖町招致外国人青年任用規則の全部改正について
議案第11号	洞爺湖町立中学校制服等購入費助成金交付要綱の制定について

議案第 1 2 号	洞爺湖町洞爺地区等高校生通学費等助成に関する要綱の全部改正について
議案第 1 3 号	洞爺湖町教育委員会行政組織規則の一部改正について
議案第 1 4 号	洞爺湖町教育委員会事務の事務委任に関する規則の一部改正について
議案第 1 5 号	洞爺湖町フッ化物洗口事業実施要綱の一部改正について
議案第 1 6 号	修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正について
議案第 1 7 号	洞爺湖町検定料助成金交付要領の一部改正について
議案第 1 8 号	洞爺湖町保育所条例施行規則の一部改正につて
議案第 1 9 号	洞爺湖町一時預かり保育事業実施要綱の一部改正について
議案第 2 0 号	洞爺湖町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例施行規則の廃止について
議案第 2 1 号	洞爺湖町私立幼稚園利用者負担金等の軽減に関する助成要綱の廃止について

2. 委員の活動について

1 月 1 9 日	学校訪問（虻田小学校・とうや小学校・洞爺中学校）
1 月 2 3 日	学校訪問（洞爺湖温泉小学校・虻田高等学校）
1 月 2 5 日	保育所訪問（4 保育所）
1 月 2 6 日	学校訪問（虻田中学校）

事務事業評価

及び評価委員の意見・提言

行政評価委員総括意見

令和4年度の教育行政執行方針に基づき、28区分の主要施策に分けた主な事務事業について、各担当課による点検・評価の内容をもとに、第三者の立場から意見・提言を申し上げました。

評価対象の事務事業については、新型コロナウイルス感染症が収まらない中での事業展開であり、一部は中止を余儀なくされた事務事業もありますが、今後は通常に戻って行くものと期待しております。

このたびの評価を通して、特に次の点について申し上げます。

1点目は、児童生徒の学力の向上はすぐに結果に表れないものですが、タブレットの活用や授業改善など、工夫して取り組んで頂きたいと思います。特に英語教育については、幼児期からALTや英国青年などを活用し、英語にふれ合う機会を持つことで興味をもってもらい就学後の学習に繋げるような取組みを進めて頂きたい。

2点目は、子ども達に洞爺湖町の魅力を理解してもらえる事業の取組みを期待します。そうすることで、一度は町外に出ても各地で洞爺湖町の魅力を伝えながら、将来は戻ってきて次世代に町の良さを伝えていけるような繋がりが出来れば良いと思います。

以上、2点ほど申し上げましたが、更なる当町の教育行政の発展のための取組みを期待します。

●洞爺湖町教育委員会行政評価委員

区 分	氏 名	摘 要
委員長	山本 隆	洞爺地区
委 員	永井 信久	洞爺湖温泉地区
委 員	大西 栄美	虻田地区

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅰ 幼児期の保育及び教育の推進				
主要施策	ア 子育て支援の充実				
取り組みの概要(事務事業)	①保育所及び私立幼稚園の利用者負担額の軽減対策の実施 ②一時預かり事業 ③町内私立幼稚園への制度に基づく支援 ④幼児教育・保育の無償化				
実施状況	①平成29年度より、洞爺湖町内に住所を有し就学前児童を扶養する保護者に対し、利用者負担額を2分の1助成することで経済的負担の軽減により子育ての支援を行った。 ②平成26年度に子育て支援センターで試行し、平成27年度から常設保育所で本格実施。虻田地区は本町保育所、洞爺湖温泉地区は桜ヶ丘保育所、洞爺地区は洞爺保育所で実施した。(各保育所定員1日2名) ※実績(延べ人数)本町保育所 6 名、桜ヶ丘保育所 48 名、洞爺保育所 151 名 計 205 名 ③町内私立幼稚園が、子ども・子育て支援法に基づく施設型給付施設へ移行したことにより、制度の趣旨を踏まえた給付費の支援を実施した。(3/1 洞爺湖町在住児童 49 名) ④令和元年10月からは、幼児教育無償化がスタート。3歳以上については利用者負担金(保育料)は無償となっている。令和5年4月から完全無償化に向けた条例改正をおこなった。また、副食費月額 4500 円の負担額については、2分の1助成を実施しており、ふるさと納税を充当している。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	①利用者負担金助成	5,062	5,884	0	2,300
	②常設保育所運営事業(一時預かり事業)	8,452	8,501	5,326	368
	③私立幼稚園施設型給付費事業	37,961	42,621	32,988	0
	④幼児教育・保育の無償化	0	0	0	0
評価	①利用者負担額を2分の1助成することにより、保護者の働きやすい環境を整えることができた。 ②3地域でそれぞれ実施され、利用者も定着しており、地域の子育て支援のサポートができた。 ③町内私立幼稚園が、新制度による施設型給付施設へ移行したことに伴い、当該施設と連携を図り、適切に給付を実施することができた。 ④令和元年10月から幼児教育無償化により3歳以上児については、副食費のみの負担となったが、利用者の負担額を2分の1助成することにより、保護者の負担を軽減することができた。令和5年4月から完全無償化とする条例改正をおこなった。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題	対応方向			
	①②③④特になし	今後も継続して実施していく。			
評価委員の意見・提言	子育てしやすいまちづくりを目指し、子育て支援を進めて頂きたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅰ 幼児期の保育及び教育の推進				
主要施策	Ⅱ 保育所の運営充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①幼・保・小連携の充実の活動推進 ②新型コロナウイルス感染症対策(予防対策用品購入)				
実施状況	①・小学校参観日等に所長若しくは保育士の参加により、学校での就学した児童の様子を見学を実施するとともに、意見交換を行った。 ・3月には保育所児童要録(小学校就学児対象)を個別に作成し、持参による提出で各小学校へ引継ぎを行い連携を図った。 ②・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、保育所等の休所や外出機会が減少し自宅での時間が増えた子どもの支援として、本の貸出蔵書の強化・充実を図った。また、予防対策について書籍及び遊具の殺菌保管庫の備品を購入して感染対策を行った。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	①保育の質の向上のための研修事業	0	72	36	0
	②新型コロナウイルス感染症対策	0	3,267	3,264	0
評価	①児童要録は教育にかかわる視点で「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の項目で構成されており、具体目標に沿った児童の状況を記載している。小学校教員と直接引継ぎを行っているほか、学校側からの保育所への期待など確認し保育に取り入れている。 ②コロナ禍における保育所での感染拡大防止が図られた。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題	対応方向			
	①②特になし	・今後も学校・幼稚園・保育所、教員・幼稚園教諭・保育士相互の交流を通じ、就学に向けて必要な連携を図っていく。 ・平成 30 年度より適用された児童要録はより具体的に記載することにより、児童の状況をより具体的に引継ぎを行うことができる。記載の表現など研修を重ねていく。 ・保健師および小学校との連携により、支援を要する児童も含めたスムーズな就学に向けた取り組みを図る。 ・新型コロナウイルス感染症については、対策は行わず通常どおりとしていく。また、購入備品についてメンテナンスをしながら維持していく。			
評価委員の意見・提言	幼・保・小の相互交流を通じスムーズな就学に向けた取組みを進めて頂きたい。また、保育中の幼児の安全対策の確保に向け、さらなる取組みをお願いしたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅰ 幼児期の保育及び教育の推進				
主要施策	ウ 子育て支援センター事業の推進				
取り組みの概要 (事務事業)	①子育て支援体制の連携				
実施状況	①・子育てセミナーについて、6回開催のうち新型コロナウイルス感染症対策のため、1回中止とし、5回は感染対策をとりながら実施した。他の事業については、状況を見ながら実施した。 ・社会教育事業のブックスタートに同行し、幼児期の読み聞かせの大切さなど周知した。 ・各保育所で月1回の保育所開放を実施し、保育所との連携を図っている。 ・広報誌「なかよしメール」を月1回発行(ホームページ掲載) ・健康福祉センターと連携をとりながら、出生した世帯に子育て支援センターの事業案内「あかちゃんハガキ」を定期的に発送し周知を図った。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	子育て支援センター運営事業	3,095	1,682	1,625	0
評価	①・子育て支援センターでは、子育て支援に関するアンケートを実施しており、各種事業は概ね好評を得ている。 ・保育所開放は各保育所月1回実施し定着している。令和4年度について、本町保育所においては週に2回開放を予定していたが、コロナ感染対策やそれに対する警戒心が強く利用を控える傾向が見られた。 (利用延べ人数 保護者、乳幼児 222 名)				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題	対応方向			
	①特になし	・子育てセミナーは、毎年実施している子育て支援に関するアンケートを踏まえて、関係機関の協力を得ながら、より親しみのある事業内容の実施に努める。 ・保育所開放は定着しているので継続して行っていく。			
評価委員の意見・提言	子育て支援として、保護者が参加しやすい取り組みについてアンケート結果から確認するなど、利用者目線に立った事業を展開して頂きたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

	担当課	管理課												
推進項目	Ⅰ 幼児期の保育及び教育の推進													
主要施策	エ 保育施設の整備													
取り組みの概要 (事務事業)	①本町保育所と入江保育所の統合移築、複合化施設の推進													
実施状況	①町有地である「みんなの森公園」付近を新たな候補地として選定した後、基本計画に基づき4回の庁内検討会議を開催し、保育所統合及び複合化施設の必要性など町民説明会及びアンケート調査などを実施した。													
事業費	事務事業	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決算額(千円)</th> <th colspan="2">特定財源(4年度)</th> </tr> <tr> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>国・道</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>①本町保育所と入江保育所の統合移築</td> <td>6,105</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	決算額(千円)		特定財源(4年度)		3年度	4年度	国・道	その他	①本町保育所と入江保育所の統合移築	6,105	0	0
決算額(千円)		特定財源(4年度)												
3年度	4年度	国・道	その他											
①本町保育所と入江保育所の統合移築	6,105	0	0											
評価	①町民対象に周知し、複合施設とする方向性を示すことができた。													
達成度	A	<table border="1"> <tr> <td>説明</td> <td>一部変更となったが予定どおり実施できた。</td> </tr> </table>	説明	一部変更となったが予定どおり実施できた。										
説明	一部変更となったが予定どおり実施できた。													
課題と対応方向	課題	対応方向												
	①利用者の満足度の向上	基本設計に向けて、保育士等の意見を取り入れながら実施していく。												
評価委員の意見・提言	利用者にとって満足度の高い施設となるよう現場の意見を取り入れて頂きたい。													

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その1》				
取り組みの概要 (事務事業)	①コミュニティ・スクールの実施 ②小中連携の実施 ③スタンダード5研修委員会による新たな学力向上指標(スタンダード5)の浸透 ④GIGAスクール構想の推進				
実施状況	①平成29年度より洞爺地区でコミュニティ・スクールを導入し、虻田地区においては平成30年度より導入しており、令和4年度においては、各校で対面会議をそれぞれ実施した。 ②虻田中学校区と洞爺中学校区で授業交流等の小中の交流・連携を進めた。 ・洞爺地区では、小・中相互に授業見学し、その後交流を行った。また小学校から中学校に入学する子どもの情報引継が当該学年のみでなく、養護教諭、指導部長など、多くの教員が参加し、細やかに対応した。虻田地区では、11月に虻田中が虻田小、温泉小の授業を参観し、虻田中教員が乗り入れ授業を行った。また、中学校へ進学する6年生の子どもたちについて、中学校進学に向けての家庭学習の課題プリントを出し、提出させた。 ③新たな学力向上指標(スタンダード5)の各校の取組状況を交流するとともに、確かな学力を育むための町内学校で共通した授業の指導過程づくりに取り組んで、その原案を作成した。更に、机上整理等、授業における基本的なきまりを意識させるために啓発用のポスターの原案を作成した。 ④令和2年度に1人1台端末の整備を実施。令和3年度は、文部科学省の補助事業を活用し、端末利用のルール・使用マニュアルの作成や授業のサポートなどを実施するGIGAスクールサポーター1名の配置を行い、モバイルWi-Fiルーターの無償貸出を開始。令和4年度についても引き続きGIGAスクールサポーター1名を配置し、端末活用の技術向上に向けたサポートを実施した。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	①コミュニティ・スクールの町内全校実施	80	301	0	0
	②小中連携の実施	0	0	0	0
	③スタンダード5研修委員会の開催	23	58	0	0
④GIGAスクール構想の推進	23,957	23,473	0	0	
評価	①町内各校に設置されているコミュニティ・スクール体制により、コロナ禍の中にあり合同会議は実施できなかったが、各校での対面会議を3回実施した。 ②小中連携においては、コロナ禍により、制限がある中、生徒指導の交流や小から中へと進む際に細やかな情報の引継など、日常的な交流・連携ができた。 ③スタンダード5が各校に浸透し、子ども達や保護者も指標を理解した上で町内小・中学校が共通の指標のもとで学力向上の方向性を確認できた。 ④GIGAスクールサポーターを配置したことにより、端末利用時のルール作成や教職員における端末活用に関する技術向上が図られ、端末持ち帰り学習が促進された。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①②③特になし ④ICT教育の促進		①通常会議を開催し、学校教育の推進を図る。 ②今後も積極的に取り組んでいく。 ③新たなスタンダード5により、今後も取り組んでいく。 ④今後も教員向けのICT支援に取り組み、より良い授業の実現を図る。		
評価委員の意見・提言	ICTを活用した授業の推進やタブレットの持ち帰りによる家庭学習の定着化など、学力向上に向け積極的に取り組んで頂きたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	管理課	
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進			
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その2》			
取り組みの概要 (事務事業)	①教育指導専門員の配置 ②全国学力・学習状況調査 ③学習支援員の配置			
実施状況	①引き続き1名配置した。(平成27年度から配置) ②令和4年度全国学力・学習状況調査を、国からの依頼により、町内全小中学校を対象に実施し、町内の調査結果を分析した。 ③基礎学力向上を図るために、学習支援員3名を配置した。			
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)
		3年度	4年度	国・道 その他
	①教育指導専門員の配置	3,106	3,232	0 0
	②全国学力・学習状況調査	0	0	0 0
	③学習支援員の配置	7,849	7,974	0 0
評価	①教育指導専門員の配置により、教育委員会として各学校へ専門的な指導、アドバイスができた。 ②全国学力・学習状況調査の実施及び独自の学力調査の実施により、現状の傾向や課題を把握し、分析し、児童生徒個々の教科指導の充実に努めている。 ③町独自の学力向上対策のための支援員の配置により、授業の円滑化や学習姿勢、意欲の意識向上に努めた。			
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。	
課題と対応方向	課題		対応方向	
	①特になし ②全国学力・学習状況調査の結果活用 ③学力の向上		①引き続き配置を継続する。 ②学力向上に向けた取組として、全国学力・学習状況調査における現状の傾向や課題の把握、分析をはじめ各学校の取り組みの充実を図るため継続して実施する。 ③引き続き、学習支援員の配置を行っていく。	
評価委員の意見・提言	児童生徒の学習意欲が向上する方策について分析・改善するなど、学力向上に向け取り組んで頂きたい。			

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その3》				
取り組みの概要 (事務事業)	①独自学力検査の実施 ②中学生実用英語検定・漢字検定料助成				
実施状況	①町独自の「標準学力調査(全面改訂版)」を実施した。 ②実用英語技能検定及び日本漢字能力検定料について当該年度の1回分を助成した。 * 受験者数 イ 実用英語技能検定 26名(受験率 18%) 前年度53名(受験率 32%) ロ 日本漢字能力検定 32名(受験率 22%) 前年度41名(受験率 25%)				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	①独自学力検査の実施	449	272	0	0
	②実用英語検定・漢字検定料の助成	279	164	0	0
評価	①町独自の「標準学力調査(全面改訂版)」を実施により、児童生徒個々の教科指導が図られている。 ②漢検においては、前年度とほぼ同様の受験率となったが、英検の受験率が前年度より減少したため、再度、助成制度の周知等を図るなど受験率の向上に向けた取組を進める。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	① 学力の向上 ② 受験者の増及び学力の向上		①町独自の「標準学力調査(全面改訂版)」の実施など、引き続き支援していく。 ②今後も受験者の増を図るとともに、学習意欲の向上を図り、学力の向上につなげる取り組みとしては有効と思われることから、引き続き実施していく。		
評価委員の意見・提言	受験率が低い状況を改善する取組を進めて頂きたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	管理課				
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進						
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その4》						
取り組みの概要(事務事業)	①働き方改革の推進						
実施状況	①教職員の事務負担軽減を図るため、校務支援システム導入に向けた検討。 ②学校閉庁日に対する保護者への通知 ③部活動地域移行に向け、近隣市町と連携し、専門家による勉強会の開催						
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)			
		3年度	4年度	国・道	その他		
	①働き方改革の推進	0	0	0	0		
評価	①学校や児童生徒に関する様々な情報をデジタル化し、教職員間で共有するシステムを構築することで、教職員の事務負担を大幅に軽減し、さらに、子どもの育ちを教職員全体で見守るきめ細やかな指導の充実が図られることが期待される。 ②働き方改革の推進に向けて取り組みを実施したことで、若干ではあるが時間外勤務を縮減することができた ③部活動地域移行に向けてアンバサダーを招いて勉強会の実施(伊達市、壮瞥町、豊浦町との合同開催)。 【令和3年度:後期】						
	区分	対象	時間外在校等時間(超過時間)別人数				平均時間外在校等時間
			45 時間未満	45~80 時間未満	80~100 時間未満	100 時間~	
	10月	小・中学校	59 名	8 名	0 名	0 名	24.2 時間
	11月	小・中学校	61 名	6 名	0 名	0 名	21.5 時間
	12月	小・中学校	61 名	6 名	0 名	0 名	20.9 時間
	1月	小・中学校	62 名	5 名	0 名	0 名	13.8 時間
	2月	小・中学校	63 名	4 名	0 名	0 名	17.7 時間
	3月	小・中学校	61 名	3 名	2 名	1 名	20.5 時間
	【令和4年度:後期】						
	区分	対象	時間外在校等時間(超過時間)別人数				平均時間外在校等時間
			45 時間未満	45~80 時間未満	80~100 時間未満	100 時間~	
	10月	小・中学校	64 名	7 名	1 名	0 名	20.75 時間
	11月	小・中学校	62 名	9 名	0 名	1 名	21.25 時間
	12月	小・中学校	67 名	4 名	1 名	0 名	15.35 時間
	1月	小・中学校	70 名	2 名	0 名	0 名	12 時間
	2月	小・中学校	66 名	5 名	1 名	0 名	21.3 時間
	3月	小・中学校	64 名	6 名	1 名	1 名	23.7 時間
	達成度	A	説明	概ね達成できた。			
	課題と対応方向	課題		対応方向			
①教員の時間外勤務の短縮		①働き方改革指針に基づき、児童生徒の多様な学びを止めることなく、教職員一人一人の意識改革とともに、時間外勤務縮減の取り組みを進める。					
評価委員の意見・提言	校務支援システムの活用や部活動の地域移行の取組みを通じて、教員の働き方改革を進めて頂きたい。						

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	イ 特別支援教育の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①介護員・支援員の配置 ②指導計画・教育支援計画の充実				
実施状況	①特別支援教育支援員4名、特別支援学級介護員7名及び学習支援員3名を配置した。 ②特別な支援を要する児童生徒への個別の教育指導計画や個別の教育支援計画の策定を進めている。また、子どもたちの育ちと学びを支えるため、子ども・子育て支援ファイルを新生児訪問時に保護者に配布し活用を図るようにした。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	①介護員・支援員の配置	28,949	33,665	0	0
	②指導計画・教育支援計画の充実 (支援ファイル「すくすく」作成費)	40	0	0	0
評価	①支援員及び介護員の配置により、特別な支援を要する児童生徒への柔軟な対応や、授業自体の円滑化を図ることができた。 ②個別の教育支援計画については、町内小中学校共通の様式を作成したことにより、町内で統一した発達や発育を総合的に捉えることができるが、活用を更に進めるようにする。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①介護員、支援員の確保 ②支援ファイルの活用促進		①授業を円滑に行うため、適正な配置を考慮しながら、継続して配置をする。 ②活用の充実を図るため、保護者・関係機関と連携・協議して進めていく。		
評価委員の意見・提言	特別な支援を要する児童生徒の学びの環境を確保するため、引き続き必要な対策を講じ、特別支援教育の充実に取り組んで頂きたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ウ 特別教育等の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①環境教育、防災教育の推進 ②ALTの活用				
実施状況	①コロナ禍においても、各学校とも自校の環境教育、防災教育の計画に基づき、校外での体験学習や火山マイスター等の講師を招いての防災学習を行った。特に1日防災学校は、毎年ローテーションに基づき実施している。成果は環境・防災教育実践集としてまとめられている。 避難所開設体験学習については、コロナ禍のために中止となった。 ②ALTを1名任用し、週1日ずつ各小中学校へ派遣している。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	①環境教育、防災教育の推進(避難所開設体験学習会)	0	0	0	0
	②ALTの任用	3,979	4,229	0	0
評価	①各学校の実情にあわせた防災教育・環境教育が行われている。また、1日防災学校では防災学習を体験することで児童生徒の防災に対する意識付けが図られてきている。 ②各学校の英語担当教諭と協力し、児童生徒たちの理解度を考慮した授業内容や方法を提案し、英語や異文化への興味や理解を深めている。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①1日防災学校の実施内容等の検討 ②特に無し		①実施内容の更なる充実を図る。 ②特に無し		
評価委員の意見・提言	ふるさと教育の推進と自然災害時の初期行動や避難所運営の習得など、継続した取り組みを進めて頂きたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

	担当課	管理課			
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	エ 児童生徒の健康及び安全の充実《取組その1》				
取り組みの概要 (事務事業)	①体力向上の推進 ②フッ化物洗口事業 ③いじめ、問題行動、不登校等への対応				
実施状況	①令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施した。 ②町内3小学校及び町内2中学校の全てでフッ化物洗口普及事業を実施した。 ③年2回の道教委のいじめに関するアンケート調査、学校独自のアンケート調査に加え、心理テスト(ハイパーQI)を実施した。また、必要に応じて、スクールカウンセラーの派遣を実施した。不登校児童生徒については、読書の家において、教育指導専門員が児童生徒の心のケアも含めて学習の支援を行った。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	①体力向上の推進	0	0	0	0
	②フッ化物洗口事業の実施	333	267	0	0
	③いじめ、問題行動、不登校等への対応	384	356	0	0
評価	①令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、本町の傾向と課題を把握することができた。 ②保護者の理解を深め、関係機関と連携を図り、フッ化物洗口事業を円滑に実施できた。 ③アンケート調査や心理テストの結果を検証し、いじめに関する早期発見及び所要の対応を的確に実施することができた。また、必要に応じたスクールカウンセラーの派遣により、円滑な学校運営を図ることができた。不登校児童生徒については、教育指導専門員を配置し児童生徒の心のケアを含め学習の支援を行い、昨年度よりは減少している。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①体力の向上 ②特になし ③心理テストの有効活用		①男女ともに全国平均を下回る種目が多いため、今後も体力向上のため、各学校の取組充実と併せ現状の取組を推進していく。②今後も継続して実施していく。③いじめ、問題行動、不登校等への対応として、スクールカウンセラーの派遣を今後も継続する。心理テストについては、原則年2回として実施し有効活用を図る。また、不登校児童生徒対策については、教師間及び保護者との連携を図り、必要な場合は福祉部局と連携も検討のうえ、迅速かつ生徒に寄り添った対応を図るよう努める。		
評価委員の意見・提言	児童生徒の健康と安全のため、体力向上に向けた対策は検討して下さい。また、不登校児童生徒については、家庭と連携しながら引き続き対応を進めて頂きたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

	担当課	管理課			
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	エ 児童生徒の健康及び安全の充実《取組その2》				
取り組みの概要 (事務事業)	①通学路の安全確保 ②各種安全教室等の開催 ③新型コロナウイルス感染症対策 ④熱中症対策				
実施状況	①令和3年度に点検・整備を実施した通学路危険箇所等の改善状況等を通学路等交通安全推進会議で結果報告を行った。 ②地震や火災を想定した避難訓練、交通安全教室、薬物乱用防止教室などを実施した。 ③昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として各学校に消毒サポーターを配置し、適切な感染予防策を講じた。 ④熱中症対策として、各学校に冷風扇を整備した。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	①通学路の安全確保	0	0	0	0
	②各種安全教室の開催	0	0	0	0
	③新型コロナウイルス感染症対策	1,280	1,031	0	0
	④熱中症対策	82	85	0	0
評価	①通学路等の安全確保に向け通学路等の危険箇所等、今後の対策等について、共通理解を図ることができた。 ②自然災害等についての講話や実践を通じて、児童生徒の防災意識の向上が図られた。 ③コロナ禍における学校での感染拡大防止が図られた。 ④熱中症対策用品を整備することで、熱中症予防の意識の向上が図られた。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①②③④特になし		①通学路等の安全確保に向け、合同点検等を実施し、安全対策の推進に努める。 ②今後も継続して実施する。 ③引き続き適切な感染予防対策を講じる。 ④引き続き適切な熱中症予防対策を講じる。		
評価委員の意見・提言	児童生徒の安全の確保のため、引き続き取り組んで頂きたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	オ 高校教育の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	① 虻田高校への支援 ② 虻高未来づくりフォローアップ活動推進委員会との連携 ③ 洞爺地区等高校生通学費等助成事業				
実施状況	① 「虻田高等学校の未来づくりに関する提言書」に基づく支援事業を行った。 ② 虻高未来づくりフォローアップ活動推進委員会を1回開催し、現状等を検証した。 ③ 洞爺地区、花和及び月浦に居住し、胆振西学区地区、留寿都村及び真狩村の高等学校に通学する生徒の通学や下宿等に要する経費を負担する保護者に対し、助成を行った。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	① 虻田高校への支援	4,340	5,854	0	5,300
	② 虻高未来づくりフォローアップ推進委員会活動事業	62	40		
	③ 洞爺地区等高校生通学費等助成事業	2,444	2,464	2,400	0
評価	① 生徒募集活動等必要な支援を行うことができた。 ② 令和3年度に虻田中学校3年生の保護者へ支援内容や進路等の文書を配布した効果として、令和4年度は町内より16名が入学。 ③ 保護者への負担軽減を図る学習機会の確保をすることができた。				
達成度	A	説明	達成度は比較的高い		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	① 入学者20名以上につながる支援策 ② 提言書としてまとめた意見を次へつなげる活動の推進 ④ 全町を対象とした助成事業の検討		①② 虻高未来づくり推進会議で虻高の魅力化の発信及び入学者増となるような支援策を協議するとともに、虻高未来づくりフォローアップ活動推進委員会のコミュニティースクールへの移行を検討。 ③ 全町を対象とした助成事業の実施。		
評価委員の意見・提言	これまでの取り組みを継続しつつ、生徒が入学を望む新たな視点での取り組みを検討しながら、地域の高校として入学者の確保に向け取り組んで頂きたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

	担当課	管理課			
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	カ 学校施設の整備				
取り組みの概要 (事務事業)	①学校施設の維持・管理の推進 ②教育施設の現状と今後の方向性への対応				
実施状況	①町内小中学校施設に係る工事及び修繕を実施。 主な工事 虻田小学校グランドフェンス修繕工事(935 千円) 洞爺中学校便所配管修繕工事(1,282 千円) ②道教委、虻田高、虻田中、町長部局とで虻中の虻高校舎の活用について懇談を実施。 ・町内各所で地域別教育懇談会を開催(6回)し、教育施設のあり方の意見徴収とアンケート調査の実施				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	①学校施設の維持・管理の推進	11,999	12,033	0	0
評価	①学校施設の維持・管理については、児童生徒の安全を優先し必要箇所の工事、修繕を行った。 ②教育施設について、町民の意向を伺うことができた。 【アンケート調査内容・結果】 ・別紙参照				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①老朽化した施設の改修とあり方		①学校施設の長寿命化計画等、老朽化対策を計画的に行っていく必要がある。 ②引き続き懇談会を実施するとともに、教育行政審議会に諮問し、あり方を示して行く。		
評価委員の意見・提言	アンケート結果を踏まえた、これからの教育施設のあり方について、早期に方向性を示すよう努力をお願いします。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	キ 地域交流事業の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①箱根町との中学生交流 ②洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル				
実施状況	① 箱根町との中学生交流事業については、新型コロナウイルス感染症拡大により相互訪問は中止となったが、虻田・洞爺中学校と箱根中学校でリモート交流事業を実施した。 ② 洞爺湖子ども芸術文化フェスティバルの開催が新型コロナウイルス感染症拡大により中止となったため、町内小中学校での文化芸術鑑賞・体験創出事業として、町内在住のバイオリン奏者による演奏会を開催した。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	① 箱根町との中学生交流	19	33	0	0
	②洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル	0	180	0	0
評価	① コロナ禍であっても、工夫し交流事業を実施した。 ② 元 NHK 交響楽団バイオリン奏者による出張演奏会の実施は、本物の音楽に触れることができたことで、児童生徒はバイオリン演奏の世界に引き込まれ、教職員からも高評価を得た。				
達成度	B	説明	一部に未実施があった。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	① ②今後の実施方法の検討		①は、親善交流の重要な事業であり、令和5年度は、相互訪問による交流を予定している。②は地域住民に学校での教育活動の成果の一旦を発信できる機会であるので、次年度以降、アフターコロナに実施できる内容を検討する。		
評価委員の意見・提言	両事業とも今後も継続して頂きたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ク 進学支援の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①育英資金貸付及び給付事業				
実施状況	①【入学時給付金】 給付金額 高校・高等専門学校 8 万円、専修学校・大学 15 万円 令和4年度給付実績～高校3名、高等専門学校1名、専修学校・大学1名 【学資金】 貸付基準額(月額:以下の金額以内) 高校 1.2 万円、高等専門学校 1.5 万円 専修学校・大学 2.1 万円 令和4年度貸付実績～高校0名、高等専門学校0名、専修学校・大学0名 【入学時一時金】 貸付基準額(以下の金額以内) 公立高校 20 万円、私立高校 30 万円、高等専門学校 30 万円、専修学校・大学 50 万円 令和4年度貸付実績～公立高校0名、私立高校0名、 高等専門学校 0 名、専修学校・大学1名 【育英資金基金状況】 R4年度末残高 64, 929, 564円				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	①育英資金の基金貸付及び給付事業	4,042	1,446	0	1,446
評価	①育英資金基金を活用して勉学意欲がある学生・保護者への経済的負担を軽減することができた。令和4年度においては、貸付申請数が減少したことから、積極的に活用してもらえるように周知を行っていく。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題	対応方向			
	①特になし	学資金については、ふるさと納税の指定寄附により資金の確保はできている。さらなる周知に努め、有効な運営を図っていく。			
評価委員の意見・提言	制度の浸透不足による申請もれがないよう、周知の徹底を図って頂きたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	学校給食センター		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ケ. 学校給食(施設等)の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①給食センターの管理・運営 ②食育活動の充実 ③洞爺湖町学校給食センター給食検討懇談会				
実施状況	①ハサップに沿った衛生管理・運営を行い安心・安全な給食提供を行った。 ②安心・安全で栄養バランスの取れた給食提供を行うと共に、栄養教諭による食育指導・衛生指導を行った。また、地場産品の野菜等の使用に努めた。 ③統合する新しい学校給食センターにおいて提供する給食について、両給食センターのソフト面における優れた取組を引き継ぐことを検討するため、洞爺湖町学校給食センター給食検討懇談会を開催し、引き継いでいくべき内容等の検討を行った。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	①給食センターの管理運営費	47,616	49,441	0	0
	②食育活動の充実	0	0	0	0
	③学校給食センターに係る検討委員会	163	170	0	0
評価	① 給食提供数は1日約512食・年間総数 97,879 食を、調理後2時間以内に喫食出来る様、計画的に提供先6校(虻田高校含む)へ適切に配送を行った。給食費については、両センターともに納入率100%を達成出来た。(給食費納入額: 虻田給食センター20,403,100円・洞爺給食センター 6,510,320円) ②栄養教諭による食育指導で食育の推進が図られた。また、地場産品の野菜等を積極的に使用した。食物アレルギー対応では虻田給食センター除去食6名、代替飲料1名の給食対応を行い給食事故のない提供ができた。 洞爺・虻田ともにアレルギー食調理室を持たず、アレルギー対応マニュアルがないなかでの実施であったことから、北海道教育委員会によるアレルギー対応の進め方に沿ったアレルギー対応マニュアルを作成し、令和5年度から運用する。 ③3回の検討の結果、統合後の学校給食の望ましい姿や、引き継ぐべき内容等の報告を受けた。				
達成度	A	説明	予定どおり事業が実施できた。		
課題と対応方向	課題	対応方向			
	①給食センターの管理・運営の検討	両施設ともに経年劣化が進んでいる事から、統合までの間、施設・機器の維持管理を図り、現施設の運営に努める。また、統合計画を進めて行く。			
	②食育活動の充実	栄養教諭による食育指導の継続を図る。保護者へも地場産食材を積極的に使用している事を給食便り等で周知を行って行く。			
	③学校給食センター給食検討懇談会	懇談会より、報告を受けた内容を給食に反映するため、生産者等を調整や献立などの工夫を検討して行く。			
評価委員の意見・提言	安心安全な給食提供に向けた取組を引き続き進めて頂きたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

				担当課	社会教育課			
推進項目	Ⅲ 社会教育の推進							
主要施策	第4次洞爺湖町社会教育中期計画の策定							
取り組みの概要 (事務事業)	第3次社会教育中期計画の満了に伴い、成果や現状、課題を踏まえ、これからの洞爺湖町に求められる生涯学習・社会教育の更なる振興と推進を図るため、令和 5 年度～令和 9 年度の中期計画を策定。							
実施状況	アンケート調査(教育ビジョンと合わせて)の実施 4回(11/29、12/21、1/12、1/26)にわたる社会教育委員会議で素案を作成。 パブリックコメントの実施(2/6～3/6) 教育長への答申(3/9) 教育委員会議での承認(3/23)							
事業費	事 務 事 業			決算額(千円)		特定財源(4年度)		
				3年度	4年度	国・道	その他	
	社会教育委員会議			—	160	0	0	
評 価	社会教育委員会議による素案の検討開始が 11 月下旬からとなり、タイトなスケジュールとなったが、これまでの中期計画の体系を見直し、まちづくり総合計画と教育ビジョンとの整合性を図る取組を行った。							
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。					
課題と 対応方向	課 題			対 応 方 向				
	第5次計画に向けた取組			アンケート実施など早めに取り組み、検討する時間を確保する。				
評価委員の 意見・提言	第4次計画に沿った形で、事業を進めるよう努めていただきたい。							

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

	担当課	社会教育課			
推進項目	Ⅲ 社会教育の推進				
主要施策	ア 乳幼児事業の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①ブックスタート事業(生後7カ月の乳児健診時に絵本を贈呈) ②子育てメソッド形成事業(家庭教育に関する情報の提供) ※メソッド=目的を達成するための方法 ③子育てセミナーの活動支援(セミナーの開催により親同士の情報交換の場の提供)				
実施状況	①生後7ヶ月の乳児健診を利用し、本を通して親子のふれあいと心や言葉の発達を促し、子育てに対する意識を育てる事業(本の贈呈)を実施した。(参加延べ38名) ②小学校新入学児童説明会を利用して、保護者に対し家庭における余暇の過ごし方等の情報提供や資料配布により、親子のふれあいの時間を考える機会を提供した。 ③予定回数6回のうち5回実施した(参加者延べ保護者24名)。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	①ブックスタート事業	0	39	0	0
	②子育てメソッド形成事業	0	0	0	0
評価	③子育てセミナー	0	0	0	0
	①絵本の贈呈をきっかけに読み聞かせの推奨や、読書の家で借りることができる本や施設の紹介などを行った。 ②保護者に対し、家庭でテレビやゲームのスイッチを切って読書や談話など、親子のふれあいの時間の大切さなどの情報発信を行い、家庭教育の推進を図れた。 ③「はつらつパパ・ママの子育てセミナー」を町民カレッジ対象事業とし、参加促進の支援を図った。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①贈呈後のフォローアップ		読書の家の活用案内など継続性のある利用促進		
	②具体的な事業の取組		早寝早起き朝ごはん運動の啓発		
	③家庭教育の推進		子育て支援センターとの連携		
評価委員の意見・提言	乳幼児期は生涯にわたる人間形成の重要な時期であり、今後も工夫しながら事業の充実に努めていただきたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅲ 社会教育の推進				
主要施策	イ 少年事業の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①洞爺湖 GENKIDS 事業 ②放課後児童健全育成事業(町内3箇所において学童保育を実施) ③学校支援地域本部事業 ④学習支援事業「地域未来塾」の実施 (公設の無料学習塾) ⑤少年の主張大会(主催:青少年健全育成連絡協議会)				
実施状況	①5回開催(登録制なし、参加人数延べ 84 名) ②虻田地区(風っ子)19 名、温泉地区(洞爺湖クラブ)14 名、洞爺地区(とうや児童クラブ)29 名利用。 ③51 組の個人・団体が学校支援ボランティアに登録している。 ④6月～2月の期間中、小中学生を対象に母と子の館(虻田地区)、洞爺総合センター(洞爺地区)主会場として、曜日を定めて常設を実施した。(延べ 607 人) また、ウトウラノでは高校受験生を対処とした、東大生講師による ICT 遠隔教育事業を8月から2月まで実施した。(延べ 498 人) ⑤ビデオ審査形式により実施した(3 年ぶりの実施)。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)	
		3年度	4年度	国・道	その他
	①洞爺湖 GENKIDS	0	0	0	0
	②放課後児童健全育成事業	19,009	22,197	11,299	2,461
	③学校支援地域本部事業		6	3	0
	④地域未来塾	2,957	3,781	1694	50
	⑤少年の主張大会	3	16	0	0
評価	①登録制による募集は行わなかったが、5回の開催ができた。 ②学童保育を希望する児童は利用できた。(待機児童なし) ③小学校での読み聞かせや中学校での図書室の図書整理・下校時の見守り活動が行われたほか、地域未来塾での活動を行った。 ④地域未来塾の実施により、学習習慣を身に付け、基礎学力向上に向けた事業実施が図られた。 ⑤各校が選抜に向けた取組ができ、少年の健全育成の取組が図られた。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		

課題と 対応方向	課 題	対 応 方 向
	①参加者の拡大	登録制で取り組んでいたが、広く参加募集をかける。
	②体験活動などの内容 充実	学習支援ボランティアの活用を検討する。
	②学習支援ボランティアの 活用	登録ボランティアの活動を推進するため、関係機関との連携を 強化する。登録者との意見交換会の実施。
	③体制の強化	学習支援ボランティアの募集を強化する。
	④実施内容の充実	地域未来塾・ICT 遠隔教育事業の実施を継続する。
	⑤事業の周知	広報・ホームページ・SNS により周知を行う。
評価委員の 意見・提言	学習支援事業「地域未来塾」は非常に良い事業であり、事業を継続していただき たい。	

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課		社会教育課	
推進項目	Ⅲ 社会教育の推進				
主要施策	ウ 青年・成人教育の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①二十歳のつどい実施 ②人づくり育成事業の実施				
実施状況	①対象年齢は20歳、59名(対象者86名)が参加した。 ②1 団体、1 個人からの申請があり、助成を行った。				
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(4年度)
		3年度	4年度	国・道	その他
	①二十歳のつどい	137	139	0	0
	②人づくり育成事業	0	246	0	0
評価	①コロナの感染対策を図り、和やかに祝賀会を実施できた。 ②団体については、地域活動に主体的に関わっている。個人については学校支援ボランティアとして地域に関わりをもった活動に繋がった。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①式典・祝賀会の内容		他市町の事例参考に内容の検討を行う。		
	②事業の周知		広報・ホームページ・SNS により周知を行う。		
評価委員の意見・提言	二十歳のつどいの式典や祝賀会は、他の開催事例などを参考にしながら、内容の検討をしていただきたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅲ 社会教育の推進				
主要施策	エ 男女共同参画事業の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①洞爺湖町男女共同参画計画実施計画の策定 ②講演会(きずな学級)の開催				
実施状況	①「洞爺湖町男女共同参画計画」を推進するため、庁内推進委員会2回その他ワーキンググループによる会議を実施し、実施計画の素案を策定した。 洞爺湖町男女共同参画計画推進委員会の設置を行った。 ②洞爺湖町男女共同参画講演会 2022(きずな学級講演会)の実施 令和4年11月18日(金)参加者43人				
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(4年度)
			3年度	4年度	国・道 その他
	① 洞爺湖町男女共同参画計画の推進		64	13	0 0
	② 講演会(きずな学級講演会)の開催		—	49	0 0
評価	①実施計画(評価シート)の策定により具体的に目標値の設定を行うことができた。 ②ジェンダー平等の視点からまちづくりを考えるきっかけができた。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①PDCA サイクルの確立		推進委員会により検証を行い実効性を図る。		
	②参加者の拡大		広報・ホームページ・SNS により周知を行う。		
評価委員の意見・提言	洞爺湖町男女共同参画計画推進委員会を開催し、事業の検証を行い推進を図っていただきたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅳ 芸術文化の振興				
主要施策	ア 芸術文化活動の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	① 各種発表会等の開催・支援 ② 美術見学の機会の提供				
実施状況	① 総合文化祭(虻田地区)、洞爺湖町民文化祭(洞爺地区)の実施 (洞爺湖町文化団体協議会) 展示部門 10/15~10/16 あぶた体育館 ステージ部門 10/2 洞爺湖文化センター (とうや文化協会) 展示部門 11/3~5 洞爺総合センター ステージ部門 11/23 ・ふれ合う心の文化広場 3/12 洞爺湖文化センター ※主催:洞爺湖町文化団体協議会 ・各種団体等との連携 町民ロビー展(開催回数 4回) ② 美術見学会は、美術館や博物館を巡り鑑賞の機会を提供 (11/5・27 ウポポイ 延 95 名)				
事業費	事務事業		決算額(千円)		
			3年度	4年度	
	①洞爺湖町文化団体協議会活動運営事業		210	300	
	①とうや文化協会活動運営事業		25	100	
	②美術見学会		0	463	
				特定財源(4年度)	
				国・道	その他
評価	① 虻田地区の総合文化祭及び洞爺地区の町民文化祭ともに、相互協力のもとに開催することができた。 町民ロビー展は、町内各団体や個人による作品発表の場となっている。 ② 美術見学会の実施に伴い、参加者からも好評で鑑賞機会の提供ができた。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	① 人材の発掘・活動の支援		発表の場の提供、個人・団体の活動支援。		
	② 芸術文化の鑑賞機会の提供		町民のニーズに応えた見学会の提供。		
評価委員の意見・提言	各団体の高齢化が進んでいる中、開催方法に工夫を行いながら、支援に努められたい。				

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

			担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅳ 芸術文化の振興					
主要施策	イ 入江・高砂貝塚保存整備・運営の充実					
取り組みの概要 (事務事業)	① 既存施設の改修等 ② 情報発信や体験学習などの利活用 ③ 縄文ボランティアガイドの育成 ④ 縄文遺跡群の世界遺産保存活用の推進					
実施状況	① 既存施設の改修等 12,974 千円 (入江貝塚竪穴建物復元施設改修、縄文ロード、縄文サイン設置) ② 入江・高砂貝塚 4 か国語ガイドブック作成・印刷、AR 作成、縄文まつり、縄文体験(虻田・洞爺地区)、胆振縄文バスツアー体験事業 ③ 「TOYAKO 縄文ガイドの会」設立(令和 5 年 3 月) ④ 世界遺産の普及活用(世界遺産登録 1 周年記念事業、地学協働フォーラム、世界遺産子どもサミットへの参加					
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(4年度)	
			3年度	4年度	国・道	その他
	① 既存施設の改修等		25,553	12,974	0	12,500
	② 情報発信や体験学習などの利活用		1,177	6,714	0	0
	③ 縄文ボランティアガイドの育成		0	216	0	0
	④ 縄文遺跡群の世界遺産保存活用の推進		180	637	0	0
評価	① 既存施設の改修については、予定通り実施できた。 ② 貝塚館を中心として、充実した情報発信や体験学習を実施することができた。 ③ 北海道との連携や町単独での育成講座を経て、ガイドの会を設立することができた。 ④ 世界遺産登録1周年記念事業をはじめ、子どもから大人まで参加する事業を実施することができた。					
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。			
課題と 対応方向	課題		対応方向			
	① 施設の整備		竪穴建物復元施設の改修、案内標識の検討・整備			
	② 利活用について		縄文への理解を深めるためのソフト事業の計画、実施。			
	③ ガイドの充実		来訪者への理解促進に向け、活動支援や学習会を行う。			
	④ 世界遺産		周辺地域の開発等を把握し、保全に努める。			
評価委員の 意見・提言	設立したガイドの会の支援や、貝塚館を中心とした情報発信を行い、ハード面においては引き続き復元施設の改修など整備を進め、縄文遺跡群の保全に努められたい。					

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課	
推進項目	Ⅳ 芸術文化の振興			
主要施策	ウ 町内文化財の保存活用			
取り組みの概要 (事務事業)	① 充実した施設の運用 ② 指定文化財の保存と活用			
実施状況	① 学校の授業において、郷土資料館の見学会や資料の貸出を行った。 町教育研究会へアイヌ語地名マップを活用したアイヌ文化学習会を実施した。 ② 洞爺湖町指定文化財である各獅子舞保存会への支援(月浦獅子舞、香川獅子舞。曙獅子舞はコロナウイルスの影響により活動休止)。			
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(4年度)
		3年度	4年度	国・道 その他
	① 郷土資料館見学会等	0	0	0 0
	② 各獅子舞保存会補助金	64	100	0 0
評価	① 虻田郷土資料館、洞爺郷土資料室において、地域学習の場を提供することができた。 ② 町指定文化財の活動支援をすることができた(曙獅子舞については新型コロナの影響で活動休止)。			
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。	
課題と対応方向	課題	対応方向		
	① 施設の利活用の促進 ② 指定文化財へのさらなる支援	郷土の歴史の理解を深めるため、引き続き利活用の促進に努める。 今後も各保存会と連携し、指定文化財の保存と継承に努める。		
評価委員の意見・提言	引き続き、郷土資料は適正な保存管理に努めるとともに、各獅子舞保存会と連携し、指定文化財の保存と継承の支援に努めていただきたい。			

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

			担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅳ 芸術文化の振興					
主要施策	エ 読書活動の振興					
取り組みの概要 (事務事業)	① 読書環境・活動の充実 ② 読書感想画・読書紹介文募集事業					
実施状況	① あぶた読書の家、母と子の館での読み聞かせ(定期)を実施した。 北海道日本ハムファイターズとの連携により読書事業を実施した。 ② 読書感想画、読書紹介文募集事業(142 作品)					
事業費	事 務 事 業		決算額(千円)		特定財源(4年度)	
			3年度	4年度	国・道	その他
	① 読み聞かせ		0	20	0	0
	① 読書の家維持管理事業		5,642	4,726	0	0
	② 読書感想画・紹介文募集事業		14	28	0	0
評 価	① 読み聞かせは、2団体により、延25回開催し、子どもが読書に親しみ、本を読むきっかけづくりができた。また、北海道日本ハムファイターズが主催する読書キャンペーンには、町内より34名が参加し、18名の達成者があった。 ② 読書感想画、読書紹介文募集事業を洞爺湖ロータリークラブとの共催で継続実施。継続した取り組みが図られた。					
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。			
課題と 対応方向	課 題		対 応 方 向			
	① 施設の利用促進		図書関連行事等の情報発信やサークルの支援に努める。			
	② 活動の充実		共催団体と連携し、学校などへの働きかけに努める。			
評価委員の 意見・提言	サークル団体の活動支援や、図書関連行事の情報発信を行い、子ども達の読書に親しむ機会の提供に努めていただきたい。					

令和5年度(令和4年度実施)

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

			担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅵ 社会教育施設及び社会体育施設の充実等					
主要施策	ア 社会教育施設及び社会体育施設の整備					
取り組みの概要 (事務事業)	施設の維持管理					
実施状況	社会教育施設及び体育施設においては、円滑な定期利用調整を図れた。					
事業費	事 務 事 業		決算額(千円)		特定財源(4年度)	
			3年度	4年度	国・道	その他
	社会教育施設維持管理事業		14,262	17,665		472
	体育施設運営事業		7,340	12,829		784
評 価	社会教育施設及び体育施設の利用において、必要な修繕を行いながら、利用者の安全確保に努めているが、母と子の館(アリーナ)の雨漏り状況が悪化し、雨天時の利用に支障があった。					
達成度	B	説明	母と子の館(アリーナ)の雨漏り対策は大規模な屋根修繕が必要であり、次年度への予算要求など時間を要する対応になった。			
課題と 対応方向	課 題		対 応 方 向			
	各施設の老朽化		施設利用者の安全に努め、適正な維持管理を行う。			
評価委員の 意見・提言	各施設の利用者が安全に利用できるよう、施設の適正な維持管理に努めていただきたい。					

令和5年度(令和4年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課			
推進項目	Ⅴ スポーツ活動の推進					
主要施策	体育振興事業の充実					
取り組みの概要 (事務事業)	体育振興事業の充実					
実施状況	①アウトドアスポーツ「中島ウォーク！中島・湖の森博物館見学ツアー」を実施した。 参加者 17 人 ②スポーツ教室「クロスミントン体験会」をスポーツ推進委員研修会と兼ね開催した。参加者 18 人 ③初心者スキー教室を実施した。 ナイター教室 1 回、1 日教室 2 回開催 参加者延べ 54 名					
事業費	事 務 事 業		決算額(千円)		特定財源(4年度)	
			3年度	4年度	国・道	その他
	②スポーツ推進委員研修会講師料		0	30	0	0
	③初心者スキー教室指導者報償金		35	88	0	0
評価	①アウトドア事業はコロナの感染対策を行い、3年ぶりに実施し、参加した子供たちは自然に親しんだ。 ②クロスミントンは普及に努める世界レベルの選手を講師に招き、スポーツ推進委員研修会に合わせ、町民参加の体験会を開催し、参加者に好評だった。 ③初心者スキー教室は、参加児童はリフトに乗れるレベルまで上達し、学校でのスキー授業への支援ができた。					
達成度	A	説明	概ね達成できた。			
課題と 対応方向	課 題		対 応 方 向			
	誰もが取り組めるスポーツの普及活動		・R4に実施したアンケートで要望の多かったヨガ教室などの開催に努める。 ・誰もが取り組めるニュースポーツの普及に努める。			
評価委員の 意見・提言	スポーツ教室は町民のニーズに応える取組や、誰もが楽しめるニュースポーツの普及など、体育振興の充実に努めていただきたい。					